

変形性〇関節症（7問）

はき国家試験 リハビリテーション医学

【膝関節の問題】

はき 16-88 膝関節で誤っている記述はどれか。

1. 屈伸運動では、ころがり運動と滑り運動を伴う。
2. 伸展運動の最終時期に、大腿骨に対して脛骨は外旋する。
3. 外側側副靭帯は膝関節の外反を防ぐ。
4. 前十字靭帯は大腿骨に対する脛骨の前方移動を防ぐ。

はき 23-82 膝関節について正しいのはどれか。

1. 最大屈曲位では固定される。
2. 内側側副靭帯は伸展位でゆるむ。
3. 前十字靭帯は脛骨の前方移動を制限する。
4. 大腿二頭筋を内側ハムストリングスと呼ぶ。

【変形性膝関節症】

はき 4-96 変形性膝関節症について誤っている記述はどれか。

1. 関節組織の退行変性による。
2. 肥満は進行を助長する。
3. 膝の外反変形を生じやすい。
4. 大腿四頭筋の萎縮が起こる。

はき 9-96 変形性膝関節症について誤っている記述はどれか。

1. 肥満は悪化要因になる。
2. 進行すると外反変形を生じやすい。
3. 大腿四頭筋の徒手抵抗運動を行う。
4. 側方不安定性には装具を用いる。

はき 27-87 変形性膝関節症に対する運動療法で最も適切なのはどれか。

1. 階段昇降
2. 水中歩行
3. ジョギング
4. 自転車エルゴメーター

【股関節の問題】

はき 8-90 股関節について誤っている記述はどれか。

1. 大腿骨頭の約 2/3 は寛骨臼の中にある。
2. 正常の頸体角は約 120-130 度である。
3. ハムストリングスは屈曲に作用する。
4. 屈曲角度は膝の伸展時より屈曲時の方が大きい。

【変形性股関節症】

はき 24-87 変形性股関節症に対する運動療法で最も適切なのはどれか。

1. 階段昇降
2. 水中歩行
3. ジョギング
4. トランポリン

変形性○関節症 (1 2 問)

あまし国家試験 リハビリテーション医学

【変形性関節症】

あ 1-99 変形性関節症について正しいのはどれか。

1. 特徴として骨粗しょう症がある。
2. 関節周辺の筋力低下が起こる。
3. 膝関節では膝蓋骨の変形が著明である。
4. マッサージを行ってはならない。

あ 5-106 変形性関節症の症状で誤っているのはどれか。

1. 関節強直
2. 歩行異常
3. 筋力低下
4. 運動痛

【膝関節について】

あ 5-102 膝関節について誤っている記述はどれか。

1. 大腿骨と脛骨との角度は軽度内反している。
2. 内側と外側の半月板をもつ。
3. 大腿四頭筋は強力な伸筋である。
4. 膝蓋骨は種子骨である。

【変形性膝関節症】

あ 6-104 変形性膝関節症で適切でない記述はどれか。

1. 歩行開始時痛がある。
2. 関節水腫を起こす。
3. 大腿四頭筋の萎縮がみられる。
4. 外反変形が多い。

あ 7-105 変形性膝関節症のリハビリテーションで適切でないのはどれか。

1. 大腿四頭筋の強化
2. ハムストリングのストレッチ
3. 安静保持の厳守
4. 標準体重の保持

あ 13-105 変形性膝関節症患者に勧めるものとして誤っているのはどれか。

1. 柔軟体操
2. プール内歩行
3. 登山
4. 適正体重の維持

あ 19-100 変形性膝関節症に対する歩行訓練で誤っているのはどれか。

1. 足底挿板を用いる。
2. 膝関節装具を装着する。
3. 下肢に重量負荷を行う。
4. 踵の柔らかい靴を履く。

あ 22-100 変形性膝関節症に対する人工関節置換術後のリハビリテーションで正しいのはどれか。

1. 患肢荷重は翌日から開始する。
2. 中殿筋の筋力訓練を重視する。
3. 伸展角度は 30 度までに制限する。
4. 屈曲角度は 90 度までに制限する。

あ 26-85 変形性膝関節症患者に対する生活指導として誤っているのはどれか。

1. 杖の使用
2. 減量
3. 階段昇降訓練
4. 筋力増強訓練

【その他の変形性】

あ 12-99 手指変形で遠位指節間関節が過伸展位となるのはどれか。

1. 手内在筋劣位の変形
2. 槌指
3. ボタン穴変形
4. スワンネック変形

あ 21-97 足の変形と原因となる筋との組合せで正しいのはどれか。

1. 槌指 ————— 長指伸筋
2. 外反母趾 ——— 長母指伸筋
3. 尖足 ————— 短腓骨筋
4. 内反足 ————— 後脛骨筋

【股関節の問題】

あ 11-99 股関節を動かす作用のない筋はどれか。

1. 大内転筋
2. 縫工筋
3. 半腱様筋
4. 外側広筋

変形性〇関節症（7問）

はき国家試験 リハビリテーション医学

【膝関節の問題】

はき 16-88 膝関節で誤っている記述はどれか。

1. 屈伸運動では、ころがり運動と滑り運動を伴う。
2. 伸展運動の最終時期に、大腿骨に対して脛骨は外旋する。
3. 外側側副靭帯は膝関節の外反を防ぐ。
4. 前十字靭帯は大腿骨に対する脛骨の前方移動を防ぐ。

はき 23-82 膝関節について正しいのはどれか。

1. 最大屈曲位では固定される。
2. 内側側副靭帯は伸展位でゆるむ。
3. 前十字靭帯は脛骨の前方移動を制限する。
4. 大腿二頭筋を内側ハムストリングスと呼ぶ。

【変形性膝関節症】

はき 4-96 変形性膝関節症について誤っている記述はどれか。

1. 関節組織の退行変性による。
2. 肥満は進行を助長する。
3. 膝の外反変形を生じやすい。
4. 大腿四頭筋の萎縮が起こる。

はき 9-96 変形性膝関節症について誤っている記述はどれか。

1. 肥満は悪化要因になる。
2. 進行すると外反変形を生じやすい。
3. 大腿四頭筋の徒手抵抗運動を行う。
4. 側方不安定性には装具を用いる。

はき 27-87 変形性膝関節症に対する運動療法で最も適切なのはどれか。

1. 階段昇降
2. 水中歩行
3. ジョギング
4. 自転車エルゴメーター

【股関節の問題】

はき 8-90 股関節について誤っている記述はどれか。

1. 大腿骨頭の約 2/3 は寛骨臼の中にある。
2. 正常の頸体角は約 120-130 度である。
3. ハムストリングスは屈曲に作用する。
4. 屈曲角度は膝の伸展時より屈曲時の方が大きい。

【変形性股関節症】

はき 24-87 変形性股関節症に対する運動療法で最も適切なのはどれか。

1. 階段昇降
2. 水中歩行
3. ジョギング
4. トランポリン

変形性○関節症 (1 2 問)

あまし国家試験 リハビリテーション医学

【変形性関節症】

あ 1-99 変形性関節症について正しいのはどれか。

1. 特徴として骨粗しょう症がある。
2. 関節周辺の筋力低下が起こる。
3. 膝関節では膝蓋骨の変形が著明である。
4. マッサージを行ってはいけない。

あ 5-106 変形性関節症の症状で誤っているのはどれか。

1. 関節強直
2. 歩行異常
3. 筋力低下
4. 運動痛

【膝関節について】

あ 5-102 膝関節について誤っている記述はどれか。

1. 大腿骨と脛骨との角度は軽度内反している。
2. 内側と外側の半月板をもつ。
3. 大腿四頭筋は強力な伸筋である。
4. 膝蓋骨は種子骨である。

【変形性膝関節症】

あ 6-104 変形性膝関節症で適切でない記述はどれか。

1. 歩行開始時痛がある。
2. 関節水腫を起こす。
3. 大腿四頭筋の萎縮がみられる。
4. 外反変形が多い。

あ 7-105 変形性膝関節症のリハビリテーションで適切でないのはどれか。

1. 大腿四頭筋の強化
2. ハムストリングのストレッチ
3. 安静保持の厳守
4. 標準体重の保持

あ 13-105 変形性膝関節症患者に勧めるものとして誤っているのはどれか。

1. 柔軟体操
2. プール内歩行
3. 登山
4. 適正体重の維持

あ 19-100 変形性膝関節症に対する歩行訓練で誤っているのはどれか。

1. 足底挿板を用いる。
2. 膝関節装具を装着する。
3. 下肢に重量負荷を行う。
4. 踵の柔らかい靴を履く。

あ 22-100 変形性膝関節症に対する人工関節置換術後のリハビリテーションで正しいのはどれか。

1. 患肢荷重は翌日から開始する。
2. 中殿筋の筋力訓練を重視する。
3. 伸展角度は 30 度までに制限する。
4. 屈曲角度は 90 度までに制限する。

あ 26-85 変形性膝関節症患者に対する生活指導として誤っているのはどれか。

1. 杖の使用
2. 減量
3. 階段昇降訓練
4. 筋力増強訓練

【その他の変形性】

あ 12-99 手指変形で遠位指節間関節が過伸展位となるのはどれか。

1. 手内在筋劣位の変形
2. 槌指
3. ボタン穴変形
4. スワンネック変形

あ 21-97 足の変形と原因となる筋との組合せで正しいのはどれか。

1. 槌指 —— 長指伸筋
2. 外反母趾 —— 長母指伸筋
3. 尖足 —— 短腓骨筋
4. 内反足 —— 後脛骨筋

【股関節の問題】

あ 11-99 股関節を動かす作用のない筋はどれか。

1. 大内転筋
2. 縫工筋
3. 半腱様筋
4. 外側広筋